

# 青森県教育委員会教育長賞

こうやって毎年つづいていくんだなあ

名川南小学校（南部町）四年 横倉 大空

ぼくは、長野から転校してきて、いままでどうやってお米が作られているか知りませんでした。この小学校に来て、はじめて米作りをするようになったのです。

去年はじめて田植えをしました。田んぼにカエルがいるのかと思つてこわかつたけど、入つてみると、カエルが気にならないくらい楽しかったです。

動くときに、どろで足がぬけなかったり、なえを五本ずつとるのがむずかしかつたりしたけど、がんばつて植えました。ぼくは、ときどき帰るときに「大きくなつたかなあ。」と、田んぼを見ていました。ぼくたちが植えたみどり色のかわいいもち米のなえは、どんどん大きくなって、おうど色の立ばないねになりました。

それで、全校のみんなでいねかりをしました。四年生以上はかるしごとをして、一年生から三年生までは、いねをはこぶしごとでした。ぼくは、いねのたばを両手にかかえて、大事にはこびました。かつたいねを、一人十回以上もはこびました。たくさんはこんだので、とてもつかれました。

その後、学校にもどつて、いねをほしました。半分に分けたいねを、パイプにかけていきました。たくさんならんだいねを見ると、がんばつてよかつたなと思ひました。これがおもちになるとかんがえて、すごいなと思ひました。

いよいよ「もちつき大会」の日です。自分たちで作つたお米でおもちを作るのが初めてなので、がんばりたいなと思ひました。

「一・二、一・二。」

と声をかけながら、もちつきをしました。みんなならんで、じゅんばんまちです。

ぼくのばんになりました。きねを持つたらとても重くて、おもちがひつついていて、持ち上げるのがたいへんでした。でも力を入れて、おいしいおもちになるようにがんばりました。しあげにお父さんたちがついてくれたので、おいしいおもちができて嬉しかったです。

みんなで、ごぎの上で「あんこ・きなこ・ごま」のおもちを食べました。自分でついたおちは、とてもおいしかったです。おかわりをした人も、たくさんいました。今まで、どのようにお米ができていくか知らなかつたけど、一年間お米を育てて知ることができてよかつたです。ごはんやおもちを食べると、元気になることもわかりました。これからも、そんなごはんを食べつづけたいと思ひました。

今年も田うえをしました。去年よりもとるのも植えるのも楽になり、一年生にも教えられるようになりました。こうやって、毎年つづいていくんだなあ。こうやって、毎年みんなでおもちを食べて、元気になれるといいなあ。この気持ちをもちつづけたいなあと思ひました。

